

# 2025年への対応方針

【2019年改訂版】

## 1. 基本情報

【2019年10月時点】

医療機関名	北毛保健生活協同組合 北毛病院
所在地	群馬県渋川市有馬237-1
沿革	1953年渋川協立診療所開設 1954年名称変更 渋川診療所（10床） 1969年新築移転（19床） 1972年渋川診療所から北毛病院（23床） 1977年新築移転（62床） 1986年二期建設（増築）増床（130床） 1996年三期建設（増築）増床（150床） 2015年新築移転（150床）

## 2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	150 床	床	100 床	床	50 床	床
	平均在院日数	日	13.5 日	日	124.8 日	
	病床稼働率	%	100.3 %	%	99.0 %	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	150 床	床	100 床	床	50 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて医療を提供する機能を維持 高度急性期後の患者受け入れも積極的に行う
-------------------	--

## 3. 医療機能について

診療科目	9 科（内科、外科、大腸・肛門外科、消化器外科、精神科、眼科、皮膚科、小児科、救急科）
------	---

現在	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療	
	○	救急	○	災害	○	へき地	○	周産期	○	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能		人間ドック他健診事業									



将来 (2025年)	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療	
	○	救急	○	災害	○	へき地	○	周産期	○	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能											

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	群馬大学医学部附属病院	渋川医療センター	高崎総合医療センター
主な紹介先医療機関	北毛診療所		

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 高齢者を中心とした医療	高齢者をメインとする急性期から慢性期医療、救急から在宅までを幅広く担う。高齢者の急変への対応、三次救急医療機関等での高度急性期治療後の受入れなど、「切れ目のない」医療提供を行うケアミックス病院
特徴的な 在宅への対応	在宅を支援する病院として在宅医療を提供。また、開業医や介護事業所の後方支援病院として急変時の受け皿としての病床機能、高度急性期治療後の後方支援として在宅への中間点としての病床機能を発揮。

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	人口は減少するが、高齢化が著明な地域。在宅需要が増加している。北毛病院の病床は、地域の中でも短い在院日数かつ高い病床稼働率となっている。専門病院が多いため、幅広い領域をカバーし、自院の在宅患者の他、開業医や介護事業所の在宅患者など、複数の疾患と問題を抱える高齢者へ対し総合的に対応でき、気軽に利用できる地域密着型の病院としての役割を果たしている。
当院の未来像	①高齢化とそれに伴う疾患への対応：複数の疾患をかかえる高齢者に対し、特定の専門診療ではなく、患者の症状や状況を総合的に判断する診療、高齢者の暮らしを支える医療の提供。 ②救急医療への対応：初期診療から2次救急の受入。在宅患者の急変への対応。 ③在宅への対応：在宅医療提供の他、在宅の後方支援病院として急変時の受け皿としての病床機能、高度急性期後の後方支援として在宅への中間点としての病床機能を発揮。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	2015年3月に新病院を竣工しました。北毛病院は非常に難しい病気の診断や治療ができる最先端の医療機関ではありません。しかし、ほとんどの病気の診断および初療と、多くの病気のさまざまな段階での治療にいつでも対応できる医療機関として、この渋川の地において長年地域医療の一翼を担ってまいりました。引き続き、急性期から慢性期医療、救急から在宅までを幅広く担っています。急変への対応、基幹病院からの急性期後の受入れ可能な「切れ目のない」医療提供が可能なレベルと体制を維持・発展させることのできる病院を目指します。